



聖徳太子の時代から受け継がれる伝統技術 “世界最古の企業” 日本の未来が作る

現存する企業の中で、世界で最も古いといわれる企業が天王寺区にあることをご存じですか？金剛組(四天王寺二丁目)は、1400年以上にわたって社寺建築の技術を継承してきました。その歴史や技術について、株式会社金剛組会長の刀根 健一さんと金剛組専属宮大工 棟梁の木内 繁男さんにお話をうかがいました。



株式会社金剛組
会長 刀根 健一さん



金剛組専属宮大工
棟梁 木内 繁男さん

“世界最古の企業”金剛組

金剛組は、聖徳太子が日本最初の官寺・四天王寺を建立するにあたり、百濟から招いた造寺工(お寺を建てる技術者)の一人、金剛重光が578年に創業したといわれています。いにしえの時代より四天王寺の正大工職(四天王寺を護る役割を命じられた大工の称号)を務めています。創業当時の資料は度重なる四天王寺の焼失等で残念ながら残っていません。しかしながら、金剛家当主の家系図には用明天皇の皇太子(聖徳太子)が寺を建てるために呼び寄せたとあり、また日本書紀にも同様の記述があることから、そのように伝えられています。



株式会社金剛組本社
(四天王寺一丁目)



金剛家当主の家系図(一部)

金剛組が手掛けた建築物(一例)



和宗 総本山 四天王寺 金堂再建工事(天王寺区)



宮大工の手作業による曲線が美しい四天王寺 五智光院の屋根

「人が暮らす家を作る一般建築に対し、宮大工が造るのは神様や仏様が入られる信仰の場。使用する木材はもちろんだ、道具も職人が手掛けます。多くの人が手を合わせる信仰の場なので、心を込めて造ること

宮大工の伝統技術

金剛組の宮大工の強みはなんといっても高レベルの伝統建築技術。飛鳥時代から社寺の新築・改修の技を受け継いできました。「お寺の屋根は上に向かって反っていることが多いのですが、この曲線を設計から木材の加工までほぼ手作業で行います。出来上がりまでの作業風景は圧巻ですよ。」と刀根さん。

未来に残る匠の手作業

「人が暮らす家を作る一般建築に対し、宮大工が造るのは神様や仏様が入られる信仰の場。使用する木材はもちろんだ、道具も職人が手掛けます。多くの人が手を合わせる信仰の場なので、心を込めて造ること

刀根さんは「私たちが神社やお寺を建てる際は、最低でも300年以上先の未来を見ている。多くの神社仏閣は修繕や修理を重ねながら存続し、中には千年以上にわたり今日まで姿を維持しているものもあります。歴史のある建築物に携わることができるのは誇りです。また、木造建築は改修工事などを通して、循環型資源としての木材の再利用も可能です。SDGsにも適っています。」と言います。

歴史ある建築を護るためには、技術の伝承が必要不可欠。



成田山大阪別院明王院 新山門(10分の1模型)

心よりどこにもなるような建築を

「新型コロナウイルス感染症の流行をはじめとして、近年、世界では人々が不安に思うような出来事が相次いでいます。古くから神社はそういった人々の心よりどころでした。皆さんにも、ぜひ身近な神社やお寺を訪れて欲しいですね。そして私たちは積み重ねた社寺建築の技術で、人々の信仰の場所を末永く護っていきたいと思っています。」と刀根さんは結びました。皆さんも神社やお寺を訪れた際には、その建築に携わる宮大工さんたちのことに思いをせてみてはいかがでしょうか。



和宗 愛染堂勝鬘院 多宝塔再建工事(天王寺区)



他にも神社やお寺をはじめとして多数の新築・改修等を手掛けています。



天王寺区の統計 (令和5年3月1日現在)

● 推計人口:84,446人 ● 世帯数:44,026世帯 ● 面積:4.84km²

天王寺区役所

● 天王寺区役所・保健福祉センター
〒543-8501 真法院町20-33
● ホームページ www.city.osaka.lg.jp/tennoji



目次

- (2) ええトコ! 天王寺
聖徳太子の時代から受け継がれる伝統技術“世界最古の企業”が作る日本の未来
- (3) お知らせ

- (4) 保健衛生
- (5) 子育て情報
- (6) イベント情報
- (8) わがまち天王寺

- (9) 大阪市民のみなさんへ
- (12) 4月9日(日)は統一地方選挙の投票日です/シェアサイクル実証実験開始/マイナンバーカードに関する手続きの一部停止/広報紙「天王寺」の全戸配布開始

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントなどが変更または中止となる場合があります。